

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	19 20	コロナ禍において外出の自粛や面会の制限等により、本人や施設から足が遠のき関係性が希薄になりつつある状況において、関係継続の支援ができる。	本人を共に支えあう家族や馴染みの人との関係性が途切れないような支援、および施設や職員との信頼関係の構築に向け、施設全体で取り組むことができる。	本人や施設から足が遠のき関係性が希薄になりつつある状況において、新型コロナウイルス等の感染対策の強化及び緩和に向けた取り組みを充実していく。具体的には、面会制限の緩和や場所等の環境整備、電話や毎月の手紙を本人と職員を含めた日頃の様子を写真付きで紹介し、本人や施設との様々な関わりや支援により信頼関係を深めていきたい。	12ヶ月
2	33	重度化や終末期における支援の多くは併設施設である特養での対応であったが、看取りのニーズに対応するため、可能な限り事業所内での支援ができる。	事業所内において、重度化や終末期に向けた方針の共有と支援ができる。	看取りについてのマニュアル整備および研修会等の実施により、看取りケアの理解と職員の精神的肉体的負担の軽減を支援していきたい。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月